

項目	意見
空家・空き地、耕作放棄地、管理されていない森林について (26件)	空家・空き地、耕作放棄地が増加しており、景観の悪化や集落の魅力低下、転出者増加につながることを懸念する。 山や田んぼが荒れてくると、大きな災害を引き起こす。 空家はきれいに整備され、公園のような憩いの場が増えていくことを望む。 人工林などの管理ができていない所有者が増えてきている。山、農地、住宅などの管理を所有者が責任を持って管理するように促していく仕組みがいるのではないかな。 林野、田畑の管理を行っている人は高齢者が多い。個人では出来る範囲が限られている。昔のように山や川で遊べるような安全で人が楽しめる山や河川の整備を望む。 防災に対してしっかりとした河川や山林の整備が必要。
地域の活性化 (10件)	のどかさを残しつつも、おしゃれなカフェやお店がもっと増えて、観光客の人が楽しめる丹波市であってほしい。観光名所や特産品等が他地域の方に知れるようPRが必要。 若い人が住みたくなるような自然環境とただの自然環境が良いのとは違うと思います。都会に行けばあるような店なども大事だが、田舎でしか生かせない自然をきれいにし、ゆっくりくつろげる空気のおいしい田舎を環境をよくなり、自然を活かし、おいしい食を作り、都会から人を呼ぶ街であってほしい。あぜ道など残しておく方が逆に都会人にとっては面白いと思うし、田舎に来たと実感するのではないかな。 広葉樹をもっと増やし里山の風景や自然環境を学べたり体験できたりする場所を増やしていけば、もっと魅力ある市になると思います。 もっと働く場を創設(6次産業化など)し、若者が定住できる魅力あるまちづくりを、スピード感を持って進めてほしい。そうでないと、環境基本計画を策定しても何の意味もない。
若者離れへの対策 (6件)	集落周辺の空き家が増えた。若い人が丹波市を離れないで生活できる市であってほしい。まずは魅力ある住環境づくり。 また、これからの時代のキーワードとなるのは持続可能、エコロジー、オーガニック。これらを満たす環境を目指せば、それに共感する人々、特に若者の移住・定住が増えるのではないかな。
子育てするための環境作り (6件)	子育てのしやすい環境を望みます。遊具の充実した公園がない(お弁当を食べる屋根のあるところがない)ため、長時間そこで過ごすことが出来ない。
少子化対策 (5件)	人口の減少はやむを得ない状況であるが、少しずつでも人口増加につながるような施策を行い、住んでる人が満足できるように進めていただきたい。子供たちの育成のために重点的な支援を願いたい。
交通の利便性向上 (31件)	大阪に出ていくのに交通がとても不便。JRの複線化を望む。 快適に又高齢者が便利に過ごせるような交通や買い物しやすい環境にしてほしい。 デマンド型集合タクシーのさらなる充実、利便性向上を希望する。道路の安全性確保も課題。
水質、河川環境 (1件)	柏原川の水質はきれいになったが、河川管理がされておらず景観が良いとは思えない。 柏原川の上流から下流まで土砂の堆積箇所が多くある。河川の約3分の2位に土砂堆積の所もあり草木が自生しており中州となっている。 何年かにある集中豪雨による堤体決壊の要因になりかねない。
生活環境 (1件)	車検場や家庭内転的な事業をされるときは、周りの許可や承諾などはいらないのか？毎日音や声がうるさくて仕方がない。
行政運営 (22件)	行政施策において横のつながりを強化してほしい。 6町が合併してもまだまだ各町の意識が強く、一体感を感じない。各町が競争している感じがする。 河川では、地域民が指摘した所に豪雨による災害が発生している。 役所よりも地元が一番よく知っている聞く耳を持つべきである。
自然環境の管理 (19件)	水田を残してほしい。 次から次に田んぼがアパートや太陽光発電になり、悲しい。自然をもっと大切にしてほしい。子供の頃、朝目が覚めて、窓を開けたら隣の田んぼに青々と育った稲が揺れている景色が懐かしく思います。きれいで安全でどこなく覗きかがある丹波市がいいです。 環境の整備も自然を活用しつつ、持続可能性の長い整備を取り入れるべきである。 魚道が整備された箇所では、魚、その他の生物が周年みられるようになった。今後もこのような取り組みが発展していくことを願う。
地球温暖化防止対策 (3件)	パリ協定の目標に向けた取り組みは必須だが、その目標を先取りする自治体として丹波市は名乗りを上げてほしいと思う。又、その方法、対策を募って検討推進し、全国のモデルとなるようにするべき。
有害鳥獣の拡大防止 (4件)	農林業又農作物の妨げとなる有害鳥獣が駆除され、静かな田舎暮らしができる環境がいつまでも続いてほしいと願っています。 有害鳥獣、外来生物を駆除＝殺すことは人間の勝手な都合で、動物には何の罪もありません、里山を整備し、住民の理解協力を得、共存できる方法を検討していただきたい。都合が悪いから殺すは安易な考えです!
野焼き (7件)	野焼き草焼き時間帯を考えてほしい。悪臭がひどくて困っている。パトロールを多くしてほしい。指定ゴミ袋が高いことと関係するのではないかな。
有害鳥獣の拡大防止 (5件)	農作業でブドウやイチジク等、アライグマなどにあらされることが多い。 野生動物が住宅地に出てくることなく安心して生活(クマ・鹿・イノシシなど)できるようになってほしい。 このために、山や森の手入れ、道路付近の雑草や山から垂れ下がったツタの除去、イノシシ、鹿などの住みやすい山林への整備が必要である。
再生可能エネルギーの利用 (1件)	市内の森林の木材を有効に活用するために、バイオマス発電所を設置する。発生する熱エネルギーは温水に変え、スポーツ施設のプールや温水などに活用する。同時に市内の森林を整備し、クヌギや檜、ナラなどの燃料として利用しやすい落葉林や丹波の特産となりうる栗やイチジク、柿などの果実の植林などに積極的に補助を行い、杉(やヒノキ)を減らし、里山整備を計画的に行い、獣害対策や防災林としての機能を高め、資源としての活用ができるように取り組んでいく。さらに小動物が生息でき、子供たちが安心して遊べる環境づくりに力を入れる。 太陽光発電設備はいいと思いますが、住宅近くでの設置は考えていただきたい。
身近な環境 (5件)	ホテルやメダカが河辺に戻ってきたように思います。一人一人が自然に優しくゴミを出したり、汚したりしないよう意識して美しい街になるよう望みます。また、子供たちが生き物に気軽に触れることができ、環境保全に興味関心を持つようになればいいと思う。 丹波市に入るとあちこちで桜の花(並木)がとてもきれいでいいなあと思います、いつまでも人々の目を楽しませてほしいです。 セイタカアワダチソウの繁殖も大になり、自然からの公害も多く原因不明の病気になる人もあると思います。アワダチソウの処分を今のうちにすべき。 加古川の流域にて生活していますが鵜が異常繁殖し、川魚が全くなりなくなりました。この対策は地域、県は何をしているのでしょうか。20～30年前の丹波を取り戻してください。
地域の課題と考えることについて (3件)	古い考えの方が多いことも問題だが、地域活動などに協力しない孤立住民も増えてきている。市民を増やすことも大切かもしれないが、まず孤立している住民に対しての対応策について考えていく必要がある。
廃棄物処理 (8件)	道路やその周辺にゴミのポイ捨てが多くて困っている。 外国人技術研修生(と思う)が、ゴミを燃やしたり、生活ゴミが入った袋を橋から川へ投捨てたりがある。丹波市では条例を制定するなどして、外国人研修生を受け入れる企業は、その人達に対し、環境保全やマナー教育を実施するよう義務付けるべきである。 ごみ袋料金が高いので安くしてほしい。 分別指導をもっと詳しく。チラシのみにするなら市民の立場にたった興味を得られるものに。分別が前より難しく感じています。